

～実践記録～

1. 学校名： 長野市立信里小学校

2. 対象： 3学年 6人

3. 活動内容

(1) 活動名 「リンゴ栽培を通して、信里の未来を考える」

(2) 活動の目標

- ・ぼく・わたしの住む信里探検をし、その特徴やよさを知る。
- ・信里の特産物のリンゴ栽培を通して、ひとと関わり、地域の愛着を深める。
- ・リンゴづくり名人の指導から、リンゴの栽培方法や技術を知る。

(3) ESDの視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 多様性（多種多様な現象が起きていること） | <input type="checkbox"/> 公平性（一人ひとりを大切に） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 相互性（関わりあっている） | <input checked="" type="checkbox"/> 連携性（互いに連携・協力すること） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 有限性（限りがある） | <input type="checkbox"/> 責任制（責任を持って） |
| <input checked="" type="checkbox"/> その他（ふるさとを大切にす） | |

②育成する資質・能力

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4) 関連するSDGs

中心目標 「4. 質の高い教育をみんなに」

- 8. 働きがいも 経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 15. 陸の豊かさも守ろう



(5) 活動の内容

リンゴ栽培を通して、信里のリンゴ栽培の未来について考える

①信里の地域を探検しよう。

- ・ぼく・わたしが住む地域を案内する。
- ・ため池や神社について地域の方から話を聞く。
- ・南斜面にはリンゴ畑が多くあることを知る。
- ・地域で見つけたことを地図やカードにまとめる。

②リンゴの栽培に挑戦しよう。

- ・リンゴづくり名人からリンゴについてのお話を聞く。
- ・リンゴ栽培について教えていただきながら、花摘み、摘果、葉摘みなどの体験する。
- ・リンゴ栽培がなぜ盛んなのかを教えてもらう。
- ・リンゴ栽培で大切にしていることやリンゴ畑が荒れていく理由を教えてもらう。

③リンゴを味わったり、学校みんなに食べてもらおう。

- ・自分たちで栽培したリンゴを味わう。
- ・校内で保護者や先生方に販売する。
- ・JA青果選果場で自分たちのリンゴの糖度や色つきなどを機械で測定してもらう。



4. 活動の成果

本校の学区で生産されたリンゴは同じ長野市内なかでもおいしいと人気のあることを知っていた子どもたちであったが、地域探検をすることで耕作放棄されたリンゴ畑や田んぼが多いことを実感として受け止めた。

リンゴづくり名人と出会ったことを通して、リンゴづくりの手順を教えてもらったり、リンゴづくりへの思いに共感したりしながら、「おいしいリンゴにしたい」という思いを持ちながら作業をすすめた。収穫までの作業を自分たちで行ってきたことで、信里の一員としての自覚が芽生え、信里への愛着がより一層深まったと感じる。

また、おいしい信里のリンゴを絶やすことがないよう、自分たちができることは何だろうと考えていくことができた。

5. 指導方法・体制の工夫

- ・作業体験を3年生と4年生とで合同学習
- ・リンゴづくり名人
- ・地域の農家の方
- ・JA 青果物流通センターのみなさん